



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	教職高度化研究部門
Citation	子ども発達臨床研究, 7, 99
Issue Date	2015-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/58527
Type	other
File Information	AA12203623_7_99.pdf



教職高度化研究部門

教職高度化研究部門として、本年度は主に三つの活動を行った。一つは、他大学の实地視察として、2014年9月に秋田大学教育文化学部を訪れ、教員養成系大学における教職課程のカリキュラムや指導体制について調査を行った。二つは、2015年3月4日に下記の通り教職高度化フォーラムを実施する。三つは、教職課程を履修している学生を対象として、以下のようにアンケート調査を実施した。

1. フォーラムの開催

『北海道大学における教職課程の役割と今後に向けて』というテーマで教職高度化フォーラムを実施した。参加者数は約30名であった。概要は以下のとおりである。

日時 2015年3月4日（水）

14時00分～17時50分

会場 教育学部3階 会議室

- (1) 講演 『教師教育研究の発展と総合大学の役割』

吉崎 静夫（日本女子大学人間社会学部・教授、
日本女子大学教職開発センター・所長）

- (2) シンポジウム 『総合大学における教職課程の役割と今後に向けて』

シンポジスト

「名大における教職課程の現状と新領域『教師教育学』の構想」 柴田好章（名古屋大学 准教

授）

「岡山大学教師教育開発センターの取組」 高旗浩志（岡山大学 准教授）

「教職課程における科学技術コミュニケーション教育ならびに実践の意義：北海道大学 CoSTEP（科学技術コミュニケーション教育研究部門）の取り組みを例に」 石村源生（北海道大学 CoSTEP 特任准教授）

「北大の教職課程の現状と学生調査から見えること」 姫野完治（教育学研究院 准教授）

指定討論 吉崎静夫（日本女子大学 教授）

コーディネータ 大野 栄三（教育学研究院 教授）・近藤健一郎（教育学研究院 准教授）

2. 調査活動

- (1) 教職課程の履修者による教職意識・履修プロセスの調査

「教職実践演習」の受講学生（121名）を対象として、2014年11月に調査を行った。具体的な内容については、北海道大学教職課程年報第5号に掲載予定の姫野らの論文を参照していただきたい。

- (2) 教育実習生の教育観や教職意識に関する調査

来年度に教育実習を行う学生（132名）を対象として、2015年1月の事前指導において調査を行った。7月の事後指導においても関連する調査を行い、来年度以降に結果をとりまとめて報告する。